

令和7年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	国語	現代の国語	全	2	高等学校 新編現代の国語 (第一学習社)	書いて覚える漢字練習ノート二訂版(啓隆社)
学習の到達目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
学期	月	単元	学習内容		到達度目標(学習のねらい)	
前期	4月	新しい出会い	『『未知』はいくらでもある』 『ナマケモノになる』		・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。	
		話して伝える	『話し方の工夫』「待遇表現」 『論理的な表現』「情報の探索と選択」 『情報源の明示』		・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方を理解する。	
	5月	言葉が開く世界	『言語としてのピクトグラム』 『言葉の海のオノマトペ』		・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめる。	
		人間の風景	『十六歳のとき』 『虚病な詩人、街へ出る』		・文章に含まれる情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが伝わるように根拠の示し方を工夫する。 ・人生の岐路に関する文章を読み、自分の考えを論述する。	
		生活の中の表現	『法律の改正に関わる文章を読み比べる』 『図書委員会のポスターの掲示内容を検討する』		・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。	
	6月	書いて伝える	『書き方の基礎レッスン』 『身近な製品の取扱説明書を作成する』		・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。	
		社会と人間	『『弱いロボット』の誕生』 『人はなぜ仕事をするのか』		・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・読み手からの助言などを踏まえて、目的に応じて書かれているかを確かめ、書き直す手順を学ぶ。	
		現代と社会	『イースター島になぜ森がないのか』 『『材料科学』のゆくえ』		・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを遡って振り返り、根拠をあげて説明しようとしている。	
	7月	話して伝える	『スピーチで自分を伝える』 『相手に伝える案内をする』 『理想の修学旅行をプレゼンする』 『合意形成のための話し合いを行う』		・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方を理解する。 ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。	
		論理分析	『対比』『箇の感覚』 『具体と抽象』『日本語は世界をこのように捉える』 『推論』『AIは哲学できるか』		・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開について理解する。	
	9月	書いて伝える	『実用的な手紙文の書き方』 『地域の魅力を紹介する』 『自校の生徒の生活実態を調査する』 『社会に対する意見文を書く』		・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・実用的な手紙文として、依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。 ・目的に沿った調査の方法を理解し、実践する。	